登熟初期の冠水による玄米品質と食味成分の変化

福島県農業試験場種芸部・平成10年度夏作試験成績概要

1　部　門　水稲－水稲－気象災害－品質・食味　01－01－32270000

2　要　旨

平成１０年８月２７日の豪雨により、阿武隈川が氾濫し、登熟初期の水稲が冠水したため、冠水が玄米品質に及ぼす影響を調査した。

（1）冠水時間が2日以上になると土壌の堆積がみられた。

（2）冠水時間が長いほど水稲の茎葉には土壌粒子が多く付着していた。

（3）冠水時間が２日以上になると、登熟歩合、千粒重が低下し,精玄米重も低下した。また、整粒歩合も著しく低下し、検査等級は未熟粒の増大で規格外になった。

（4）冠水時間と品質、食味形質との関連をみると、整粒歩合、スコア値は負の相関が認められ、玄米蛋白質含量とは正の相関が認められた。

（5）整粒歩合と食味形質との関連では玄米蛋白質含量とは負の相関、スコア値とは正の相関が認められた。